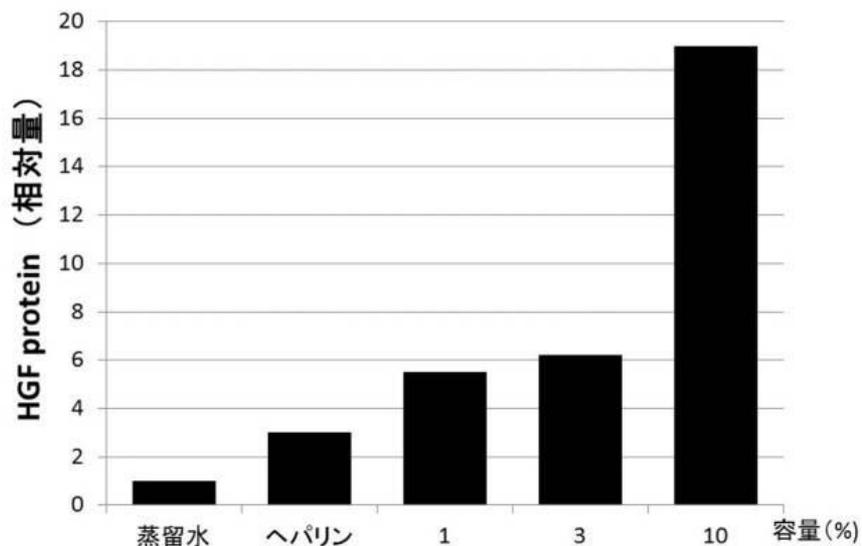


医薬

植物由来の肝細胞増殖因子産出誘導剤

発明の名称	肝細胞増殖因子産出誘導剤		
出願人/権利人	株式会社ニューロゲン、株式会社漢方医科学研究所	発明者	中村 敏一、岡 清正、大城 日出男、孫 樹建、中島 宏
出願日	平成28年1月23日	出願番号	2016-570736
公開番号	WO2016/117705	特許番号	6712056
法的状態	登録中		

代表図



肝細胞増殖因子産出誘導剤の活性

発明の概要

植物由来の有効成分を含む、肝細胞増殖因子産出誘導剤

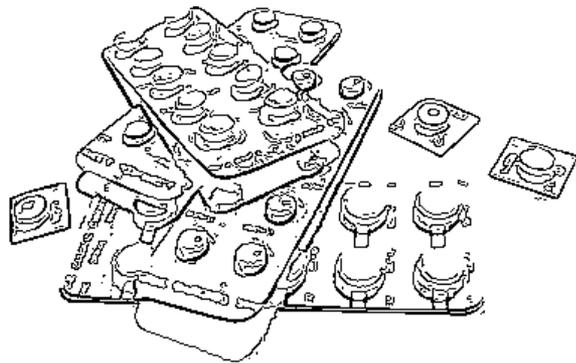
特徴

本発明は、植物由来の有効成分を含む、肝細胞増殖因子産出誘導剤である。植物は、紅花、莢朮、枸杞子、石菖蒲、益智仁、鬱金、人参、田七人参、忍冬藤、大棗、甘草、仙茅および蓮子芯から選ばれる1又は複数である。肝細胞増殖因子産出誘導剤は、肝細胞増殖因子産出細胞に作用し、肝細胞増殖因子をコードするmRNAの転写を促進する。あるいは肝細胞増殖因子のタンパク質合成を促進することで、肝細胞増殖因子の産出を誘導できる。本発明に用いられる植物は、漢方薬として長年使用されてきた生薬であり、安全性が高いものと考えられる。

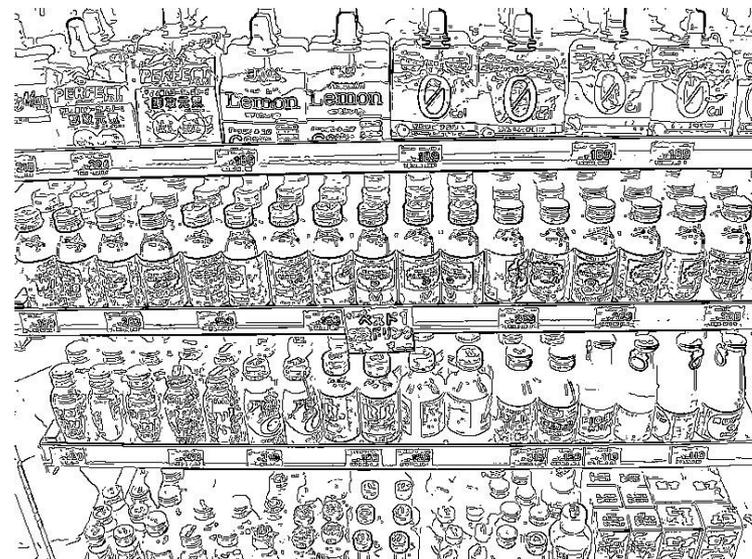
関連分野

飲食、ケミカル、医療・保健衛生

応用の可能性



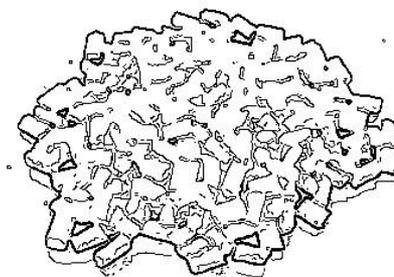
医薬品



飲食品



漢方



添加物

など

応用の可能性

- ・医薬品
- ・飲食品
- ・添加物
- ・漢方
など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・アサヒ飲料株式会社
- ・株式会社キリンビバックス
- ・あすかアニマルヘルス株式会社
- ・株式会社明治
- ・森永乳業株式会社
- ・ユーシーシーホールディングス株式会社
- ・大塚製薬株式会社
- ・株式会社日本サンガリアベバレッジカンパニー
- ・第一三共株式会社
- ・大正製薬株式会社
- ・塩野義製薬株式会社
- ・協和発酵キリン株式会社
- ・株式会社ツムラ
- ・クラシエホールディングス株式会社
など

株式会社ニューロゲンおよび株式会社漢方医科学研究所の本発明に関する最新動向

- ・株式会社ニューロゲンのホームページには、本件特許に関連する情報は見受けられない。
(http://www.neurogen.co.jp/Neurogen_nyurogen/Neurogen_Home.html)
- ・株式会社漢方医科学研究所のホームページには、本件特許そのものについての記載はないが、本件特許内容に関連する情報が掲載されている。(<https://www.ioms.co.jp/R-D>)